

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【公開番号】特開2018-111508(P2018-111508A)

【公開日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-027

【出願番号】特願2017-2447(P2017-2447)

【国際特許分類】

B 6 5 B 35/44 (2006.01)

G 0 6 M 7/00 (2006.01)

A 2 3 L 13/00 (2016.01)

【F I】

B 6 5 B 35/44

G 0 6 M 7/00 3 0 1 B

A 2 3 L 13/00 E

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月18日(2019.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

投入コンベアの無端軌道の先端部を横切るように物品確認センサーを配置すると共に、無端軌道の側部に不足した物品を補充する補正用カウントコンベアを配置した、ことを特徴とする請求項1に記載の物品計数投入装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

前記のような物品計数投入装置1の構成により、無端軌道3を構成するリテナ2は、計数する物品が嵌まり込む計数穴7が偶数個と奇数個とに形成されたものが互い違いに連続的に連結され、前記無端軌道3のリテナ2の上部に、計数穴7に物品が嵌まり込むのを妨げる個数変更用のカバー部材10が着脱可能に備えられ、物品の個数に応じて、前記駆動機構がリテナ2の必要なピッチ分だけ無端軌道3を回転させて、偶数、奇数いずれの個数でも物品を投入ホッパーに投入することができる。さらに、駆動機構が無端軌道3をリテナ2の複数ピッチ分だけ回転することができるため、投入コンベア4の幅を小さくすることができる。